

1999年度 技術・職業教育学研究室の年次報告

技術・職業教育学研究室

I. 教育活動

1. 名古屋大学教育学部専門科目

寺田盛紀

職業教育学講義

生涯教育システム演習Ⅱ

生涯教育の原理と組織（生涯教育開発基礎論）

技術教育学演習（横山教官と共同）

生涯教育調査実習（新海教官、牧野教官、横山教官との共同）

横山悦生

技術教育学講義

技術教育学演習（寺田教官と共同）

生涯教育調査実習（新海教官、牧野教官、寺田教官との共同）

非常勤講師

宮内 博（名城大学、教職課程部）

職業教育学講義（高校、大学における進路・職業指導）

2. 名古屋大学教育学研究科科目

寺田盛紀・横山悦生

技術教育学研究

II. 研究活動（1999年1月－12月）

1. 研究交流

<内地留学>

・山本貴志夫（名古屋市立工業高等学校）：1999年4月より2000年3月まで

<海外交流>

・寺田盛紀：ドイツ連邦共和国（ハーゲン放送大学他）、1999年9月17日－27日

中華人民共和国（華東師範大学他）、1999年11月11日－19日

・横山悦生：スウェーデン王国（ネース博物館・トロピョーン氏）、ドイツ連邦共和国（エアフルト教育大学他）1999年9月12日－26日

: フィンランド共和国 (オーボ・アカデミー)、スウェーデン王国 (ウメオ大学他)、
ノルウェー王国 (テレマーク教員養成大学他)、1999年11月24日—12月8日

2. 研究室の共同研究

<論文>

- ・佐藤史人・寺田盛紀「愛知県高等学校工業科の教育課程編成における専門科目の位置づけ」『名古屋大学教育学部紀要 (教育学)』第45巻第2号、1999年3月、285-296頁.

<報告書>

- ・寺田盛紀・佐藤史人・吉留久晴『高等学校における専門教育の諸相—愛知県の専門学科設置校の教育課程と進路・就職に関する実態調査結果報告書』、1999年3月、全77頁.

3. 個人の研究発表

寺田 盛紀

<論文>

- ・「デュアルシステムの職業教育経営の実際—若干の企業における職業訓練計画の実践に即して—」『職業と技術の教育学』第12号、1999年3月、57-72頁.

<論説>

- ・「高校教育改革における総合学科の役割」『産業教育』(文部省) 第586号、1999年2月、4-7頁.
- ・「専門高校改革のゆくえ」『教員養成セミナー』1999年9月号別冊、1999年9月、78-80頁.

<学会発表>

- ・「ドイツ連邦共和国の国際職業教育協力と比較職業教育学—デュアルシステム移転のための『分析装置』をめぐる—」比較教育学会第35回大会、東北大学、1999年6月.
- ・「ドイツ職業教育学とその教育システム—職業学校教員養成課程を中心に—」日本産業育学会第40回大会、東京アビリティセンター、1999年10月.

横山 悦生

<論文>

- ・高橋伊佐夫・横山悦生・稲生勝「国鉄旧北陸線の産業遺産—杉津線のトンネルとスイッチバック—」産業考古学会『産業考古学』No.94、1999年12月、15-20頁.
- ・“Nordic sloyd as a origin of Japanese technology education - Otto Salomon and Uno Cygnaeus.” in: Tapani Kananoja et al (ed.): Development of Technology Education - Conference-98. Jyväskylä Yliopisto Opettajankoulutuslaitos (University of Jyväskylä Department of Teacher Education and Finnish Association for Research in Technology Education, pp.324-334, 1999.

<学会発表>

- ・「日本における手工科の成立過程とスロイド教育」教育史学会第43回大会、北海道大学、1999年10月.

- “Seeking the origin of Japanese technology subject” NordoFo-Symposium’99 (“World-Wide Sloyd, Ideologi för Framtidens Samhälläe”) Åbo Academi Institutionen för Lärarutbildning, Finland, Vasa, 27.11.1999

佐藤 史人

<論文>

- 「産業教育振興法の成立過程に関する実証的研究－戦後高校職業教育行財政研究の側面から－」日本産業教育学会『産業教育学研究』第29巻第1号、1999年1月、53-60頁.

<学会発表>

- 「産業教育振興法定着過程に関する実証的研究－地方における産業教育の計画と財政の問題－」日本教育行政学会第34回大会、東京工業大学、1999年10月.

斎藤 修啓 (大学院生)

<学会発表>

- 「明治期における教育博物館の設置と運営－学校教育との関係に注目して－」日本社会教育学会第46回研究大会、早稲田大学、1999年9月.

陸 素菊 (大学院生)

<論文>

- 「改革開放以降の中国職業教育法制の展開－1985年党『決定』から1996年『職業教育法』へ－」『名古屋大学教育学部紀要 (教育学)』第45巻第2号、1999年3月、193-204頁.
- 「社会主義市場経済下の中等職業教育改革－ドイツのデュアルシステムを受容過程に即して－」日本産業教育学会『産業教育学研究』第30巻第1号、2000年1月、42-56頁.

<学会発表>

- 「中国における農村職業教育の展開－農村職業技術教育学校の若干の事例に即して－」日本産業教育学会第40回大会、東京アビリティセンター、1999年10月.

吉留 久晴 (大学院生)

<学会発表>

- 「ドイツ連邦共和国における技術教育カリキュラム構成の変容－普通教育における行為重視の教授コンセプトに即して－」日本教育学会第58回大会、玉川大学、1999年9月.

Sanbho Boonpun (大学院ゼミ参加生：2000年3月まで国際開発研究科大学院生)

<論文>

- 「Training Needs in Agriculture Education of Primary School Teachers in Thailand: A Case Study in Nan Province」『名古屋大学教育学部紀要 (教育学)』第45巻第2号、1999年3月、pp.267-284.

4. 学会発表

- ・「タイにおける職業教育の発展と改革動向－後期中等教育段階のカリキュラム開発への国際組織と援助国の影響－」日本産業教育学会第40回大会、東京アビリティセンター、1999年10月.

III. 研究室運営

1. 研究室報の発行

『職業と技術の教育学』第12号、1999年3月発行

2. 研究室予算

- ・ 校費（当初配分） 270万円
- ・ 科学研究費 基盤研究（B）（2）
「職業教育システムの日独比較研究」 110万円
（研究代表者：寺田盛紀）